

令和5年度第1回 区自治協議会会長会議

次 第

日時：令和5年6月9日（金）

午前9時30分から

会場：市役所本館3階 対策室1

1 開 会

2 自己紹介

3 区自治協議会会長会議について

4 座長の選任について

5 議 題

(1) 各区自治協議会について

(2) 令和5年度全体委員研修会について

6 閉会

【資料】

資料1：区自治協議会（第9期）会長名簿

資料2：区自治協議会会長会議について

資料3：新潟市区自治協議会会長会議要綱

資料4：各区自治協議会について（第9期委員構成、令和5年度自治協提案事業）

資料5：令和5年度全体委員研修会について

区自治協議会(第9期)会長名簿

区	氏名	よみがな	委員資格		所属等	会長職
北区	前田 義憲	まえた よしのり	地域コミュニティ協議会等選出者	第1号	岡方地区コミュニティ委員会	新
東区	佐藤 清	さとう きよし	地域コミュニティ協議会等選出者	第1号	大形地区コミュニティ協議会	新
中央区	佐藤 雅之	さとう まさゆき	地域コミュニティ協議会等選出者	第1号	女池校区コミュニティ協議会	継続
江南区	中野 高子	なかの たかこ	区長が必要と認めた者	第3号	地域教育コーディネーター	新
秋葉区	中島 純	なかじま じゅん	区長が必要と認めた者	第3号	新潟経営大学 教授	新
南区	高橋 直廣	たかはし なおひろ	区長が必要と認めた者	第3号	行政経験者	継続
西区	大谷 一男	おおたに かずお	地域コミュニティ協議会等選出者	第1号	黒崎南ふれあい協議会	継続
西蒲区	吉田 金豊	よした きんぼう	区長が必要と認めた者	第3号	地域教育コーディネーター	新

区自治協議会会長会議について

1 設置趣旨

区自治協議会会長会議（以下、「会長会議」といいます。）は、各区自治協議会の運営や市民等との協働の推進等に関する事項について連絡調整を行うため設置しているものです。

2 構成等

会長会議は、すべての区自治協議会の会長で構成します。

ただし、連絡調整を円滑に行うため、会長が会議に出席できない場合は、副会長や区自治協議会委員の中から会長が指名した方が代理で出席できます。

任期は、区自治協議会委員と同様です。

3 会議運営

座長を1人互選により定めることとしています。座長からは会議の進行を担っていただきます。

《座長》

任 期	氏 名
第1期（平成19年度～20年度）	小川 竹二 北区会長
第2期（平成21年度～22年度）	小川 竹二 北区会長
第3期（平成23年度～24年度）	川島 勝 北区会長
第4期（平成25年度～26年度）	新藤 幸生 秋葉区会長
第5期（平成27年度～28年度）	豊岡 克 江南区会長
第6期（平成29年度～30年度）	岩脇 正之 西区会長
第7期（平成31年度～令和2年度）	小田 信雄 南区会長
第8期（令和3年度～令和4年度）	後藤 岩奈 東区会長

4 報償費

会議に出席した場合、3,000円の報償費（税控除前）を支給します。

5 その他

会長会議の事務局は、市民生活部市民協働課が担当します。

これまでの会長会議の資料・会議概要・各期の振り返りなどは市役所ホームページでご覧になれます。

新潟市区自治協議会会長会議要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、新潟市区自治協議会条例施行規則（平成19年新潟市規則第20号）第6条第1項の規定に基づき設置する区自治協議会会長会議（以下「会長会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(組織)

第2条 会長会議は、すべての区自治協議会の会長（以下「構成員」という。）で組織する。

(座長)

第3条 会長会議に座長を1人置き、構成員の互選によりこれを定める。

(所掌事務)

第4条 会長会議は、区自治協議会の運営及び市民等との協働の推進等に関する事項について、連絡調整を行う。

(庶務)

第5条 会長会議の庶務は、市民生活部市民協働課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会長会議の運営に関し必要な事項は、座長が会長会議に諮り定める。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

各区自治協議会について（第9期委員構成）

R05.5.1現在

区名		合計	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	
現委員数		249	30	32	32	30	29	30	36	30	
新旧	新委員数(1期目)	123	15	9	21	16	16	14	12	20	
	新委員割合	49.4%	50.0%	28.1%	65.6%	53.3%	55.2%	46.7%	33.3%	66.7%	
性別	男性	148	20	14	19	20	16	17	24	18	
	女性	101	10	18	13	10	13	13	12	12	
	女性割合	40.6%	33.3%	56.3%	40.6%	33.3%	44.8%	43.3%	33.3%	40.0%	
委員構成	【1号】 コミ協等 選出者	人数	107	10	12	22	16	11	12	15	9
		比率	43.0%	33.3%	37.5%	68.8%	53.3%	37.9%	40.0%	41.7%	30.0%
		コミ協数	99	10	12	22	8	11	12	15	9
	【2号】 公共的 団体等 選出 団体等	人数	83	15	11	4	9	8	12	11	13
		比率	33.3%	50.0%	34.4%	12.5%	30.0%	27.6%	40.0%	30.6%	43.3%
				新潟市北地区スポーツ振興会	新潟市農業協同組合	中央区社会福祉協議会	亀田商工会議所	新潟商工会議所	南区PTA連絡協議会	子育て応援サポートセンター うん まんま代表	JA新潟かがやき(女性部)
				北区民生委員・児童委員協議会	東区支え合いのしくみづくり会議	一般社団法人 新潟青年会議所	横越商工会	新潟薬科大学	白根青年会議所	西区民生委員児童委員会長連 絡会中野小屋地区 会長	西蒲原土地改良区
				新潟市北区社会福祉協議会	新潟県立大学	新潟青陵大学 福祉心理学部	酒屋町商工会	一般社団法人 新潟青年会議所	南区老人クラブ連合会	西区社会福祉協議会 理事	西蒲区農村地域生活アドバイザー 一連絡会
				北新潟地域づくり学会	東区社会福祉協議会	大原簿記公務員専門学校 新潟 校	曾野木商工会	特定非営利活動法人ディンプル アイランド	食生活改善推進委員協議会南 支部	新潟大学 人文社会科学系(創生 学部) 准教授	西蒲区商工会連絡協議会
				新潟市食生活改善推進委員協 議会北支部	新潟市運動普及推進協議会東 支部		亀田郷土地改良区	秋葉区スポーツ協会	新潟みなみ商工会	新潟大学 創生学部創生学修課 程	西蒲区観光協会連絡会
				新潟市北地区老人クラブ連合会	東区障がい者地域自立支援協 議会		江南区民生委員児童委員連絡 協議会	秋葉区文化振興協会	南区障がい者団体代表(南区肢 体不自由児者父母の会)	新潟国際情報大学 国際学部国 際文化学科 専任講師	西蒲区北国街道まち歩きガイド の会
				新潟医療福祉大学	東区民生委員児童委員会長連 絡会		江南区社会福祉協議会	秋葉区民生委員・児童委員連絡 協議会	南区観光協会	新潟国際情報大学 国際学部国 際文化学科	角田山麓観光まちづくり研究会
				新潟医療福祉大学	新潟市東区老人クラブ連合会		江南区支え合いのしくみづくり 会議	新潟市秋葉区社会福祉協議会	民生委員・児童委員	西区PTA連合会 会員	西蒲区社会福祉協議会
				支え合いのしくみづくり会議	東区商業・サービス業振興連絡 会		AGNET新潟		南区社会福祉協議会	黒崎商工会 理事	西蒲区中之ロ・潟東園城支え合 いのしくみづくり会議
				協同組合北新潟商工振興会	東区スポーツ推進委員協議会				支え合いのしくみづくり協議体	西区支え合いのしくみづくり会議 西 区支え合いのしくみづくり推進員 会	西蒲区民生委員児童委員会長 会
				松浜地区青少年育成協議会	協同組合新潟木工センター				南区スポーツ協会	NPO法人まちづくり学校 事業 推進部コーディネーター	西蒲区老人クラブ連合会
				にいがた北青年会議所					新潟県立白根高等学校		新潟市小中学校PTA連合会西 蒲支部
				豊栄商工会							新潟市西蒲区スポーツ協会
				新潟市北区スポーツ協会							
				新潟市農業協同組合							
【3号】 区長が 必要と 認めた 者 役職 所属等	人数	59	5	9	6	5	10	6	10	8	
	比率	23.7%	16.7%	28.1%	18.8%	16.7%	34.5%	20.0%	27.8%	26.7%	
			人権擁護委員	元小学校長	新潟市防災士の会 中央区支部	地域教育コーディネーター	新潟経営大学 教授	新潟かがやき農業協同組合	新潟市防災士の会 西区支部 幹 事	地域教育コーディネーター(中 学校等)	
			元亀田中学校長	地域教育コーディネーター	特定非営利活動法人 新潟水辺 の会	防災士	新潟中央短期大学 講師	地域教育コーディネーター	地域教育コーディネーター	地域教育コーディネーター(小 学校等)	
			南浜小学校地域教育コー ディネーター	新潟市小中学校PTA連合会副会 長	鉄道・公共交通研究家	景観アドバイザー/一級建築士	新潟第二中学校・荻川小学校地 域教育コーディネーター	行政経験者	長岡造形大学 非常勤講師	ライター/NPO法人福井旧庄屋 佐藤家保存会	
			公募委員	東新潟中学校区青少年育成協 議会副会長	新潟市立白山小学校 地域教育 コーディネーター	公募委員	公募委員	防災士	新潟大学 人文社会科学系 教授	防災士	
			公募委員	子育て支援冊子 ままっぶ編集 委員	公募委員	公募委員	公募委員	音声訳ひばり会 会長	コミュニティ・コーディネーター養 成講座受講者	新潟大学 学生	
				木戸中学校区青少年育成協議 会事務局員	公募委員		公募委員	公募委員	ゲストハウスORIORI オーナー	コミュニティ・コーディネーター養 成講座受講者	
				公募委員			公募委員		新潟市異業種交流研究会協同 組合 理事	公募委員	
				公募委員			新潟かがやき農業協同組合		公募委員	公募委員	
			公募委員			まちの茶の間 だんだん・嶋岡 (地域包括ケア推進モデルハウ ス)		公募委員	公募委員		
						にいつまちづくり会議		公募委員			

各区自治協議会について（令和5年度自治協提案事業）

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
北区 (計 1,500千円)	地域課題の解決に向けた調査研究 (1,500千円)	地域課題の解決のため、区民との協働による取組を検討・実施します。令和6年度の事業実施を見据え、北区の現状・課題に関する調査研究等を行います。	
東区 (計 2,400千円)	(仮)東区民意調査 (2,400千円)	東区での地域課題の解決やまちの活性化に向けた令和6年度以降の事業検討のため、区民を対象とした意識調査を実施し、調査・研究を行います。	
中央区 (計 1,650千円)	区自治協議会提案事業 (1,650千円)	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取組を提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。自治協議委員で構成する専門部会において、各分野における身近な課題を洗い出し、取り組むテーマを決め、課題解決を図っていきます。	
江南区 (計 5,000千円)	江南区魅力発掘・発信プロジェクト (1,000千円)	区内への来訪者増加、関係・交流人口の拡大に向けて、地域の魅力を掘り起こし、発信するなど、まちの活性化につながる取組を実施します。	
	多世代交流“みらい”プロジェクト (1,000千円)	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。	
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト (1,000千円)	すべての人々が安心して暮らせるよう、防犯、防災、交通安全、福祉などの分野で地域での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。	
	地域課題解決サポートプロジェクト (2,000千円)	人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取組を支援します。 連携団体：区内地域コミュニティ協議会	○
秋葉区 (計 7,300千円)	きらめきサポートプロジェクト (1,630千円)	「きらめく」秋葉区に向けて、区自治協議会が地域コミュニティの活性化や福祉、防災、文化振興など、様々な課題の解決につながる事業を区内の団体から募集して、自治協議会が協働しながら、地域の人財を発掘し、継続的に取組が進められるよう支援していきます。	
	生活交通の検討と防災講演会 (350千円)	地域の実情に応じた移動手段を検討し、持続可能なものとする支援をしいとともに区内の公共交通情報を発信し、利用促進を図ります。また、R4年度にリニューアルした秋葉区防災手帳の普及と活用を進めるとともに、激甚化する自然災害から身を守るための防災講演会を開催して防災意識の向上を図ります。	
	Akihaおとな大学 (370千円)	秋葉区の特色や史跡・旧跡、魅力ある歴史など学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぎ、未来へつなげる機会を提供するための取組を実施します。	
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (846千円)	区自治協議会の認知度向上のため、秋葉区ならではのコミュニティ放送局「FMにいつ」を活用し、委員自ら番組制作に携わり、広報活動を行います。	
	地域コミュニティ協議会の将来ビジョン策定支援 (3,044千円)	持続可能な地域づくりを目指し、区内に11あるコミュニティ協議会が主体となり、5年後、10年後の地域ビジョン策定を進めます。地域ビジョン策定にあたって自治協議会と区が協力・支援し、地域のあらゆる世代が参加できる勉強会やワークショップを開催します。	
秋葉区ひな・お宝めぐり (760千円)	秋葉区の新春行事として区民協働による「つるし飾り」を区内事業所や保育園、幼稚園、小中学校などから協力いただき制作し、区内のコミュニティセンターや公共施設などで展示します。区内はもとより区外からの人の流れを生み出し、各コミュニティ協議会や商店街、地域の活性化に繋がっていきます。		

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
南区 (計 5,500千円)	クリーンアップみなみ区事業 (300千円)	区民の清掃意識やモラル向上に繋げることを目的に、日にちを合わせて南区全体でゴミ拾いを実施します。	
	南区ウォーク&ライド体験事業 (700千円)	防災意識の醸成を目的に南区の防災について学ぶ取組（輪中地帯めぐり、しろねまち歩きなど）を公共交通利用の観点を含めて企画・実施します	
	南区家族ふれ愛事業 (600千円)	家族を大切にすることを醸成し、家族がふれ合う機会を提供するための取組を実施します。	
	夏休みの宿題サポート事業 (400千円)	夏休みに子どもたちの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を生かし、世代間交流の場を創出します。	
	南区おいしいもの満載お宝探訪事業 (500千円)	南区の農産物や特産品などが並ぶ「南区味わい市場」を、白根露店市場と同時開催し、南区の味覚と六斎市の魅力を広くPRします。また、まち歩きを併せて行うことで、南区白根の歴史や魅力を再認識してもらいます。	
産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業 (500千円)	南区の企業の見学や文化施設への訪問、さらには農産物の食べ歩きなど、区の資源を生かしたツアーを企画し魅力を発信します。		
南区まちづくり活動サポート事業 (2,500千円)	地域活動団体などへの事業支援や事業連携を行い、南区の課題解決を図ります。 連携団体：大郷地区コミュニティ協議会、味方地区コミュニティ協議会、コミュニティ茨曾根大通子ども食堂運営委員会、庄瀬地域コミュニティ協議会、秋は南区！フェスタ実行委員会、新飯田コミュニティ協議会	○	
西区 (計 3,200千円)	区民で取り組む環境美化 (500千円)	ごみ拾いSNSの活用や、環境美化パートナー制度、イベントの実施等、区民の美化意識向上につながる取組を実施します。	
	支え合いの大切さ普及事業 (500千円)	令和4年度に実施したアンケートとワークショップの結果を基に、支え合い活動の大切さを広める活動を実施します。	
	西区の魅力発掘事業 (500千円)	令和4年度に発掘し可視化した西区の様々な魅力（西区八景）を活用した事業を実施し、西区の魅力を広く周知します。	
	地域の防災力向上事業 (300千円)	各地域や団体で防災に対して抱えている課題などを明らかにし、解決方法を検討します。	
	西区アートフェスティバル(仮) (1,400千円)	西区でアート活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、大学などと連携して学術・文化豊かな西区の魅力を発信します。	
西蒲区 (計 3,000千円)	住みよい・豊かな・活力あるまちづくり (1,000千円)	「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあなたがいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野（防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	
	あたたかな人の和でつながる輪 (1,000千円)	「人の和でつながる安心・安全なあなたがいまち」を目指すために、保健福祉部会が所管する分野（保健、福祉、生活環境など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	
	西蒲区お宝発信 (1,000千円)	「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指すために、まちづくり・産業部会が所管する分野（まちづくり、農業、商工業、観光など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	

令和5年度全体委員研修会について

1 目的

「市民と市との協働の要」である区自治協議会の委員の皆様の活動に活かしていただくため、全区の委員を対象に研修会を開催し、課題解決に向けた検討技術を学んでいただくもの

2 開催時期

令和5年9月1日（金）～9月7日（木）の期間で調整

※2時間程度を予定

3 研修内容

- ・令和4年度に実施した委員アンケート結果や、各区部会検討の内容をもとに検討
- ・各区の実情は大きく異なるため、全区に共通する課題項目や今後の活動・運営に活かせる技術をテーマとして設定
- ・決定した研修テーマに適した開催形式で実施

<研修テーマ 事務局案>

①課題を「深掘り」という思考法実践研修

～なぜそれが「課題」なのか？課題の本質を見極める分析ステップを学ぼう～

②本音を引き出すファシリテーション術実践研修

～本当はどう思っているの？みんなの本音を引き出すテクニックを教えます～

③伝わる「報告」のための情報伝達力強化研修

～情報を整理して組み立てる！相手に分かりやすい伝え方を教えます～

④もっと知ってほしい。全世代向けPR力強化研修

～広報誌やHPだけじゃない、お金をかけずに広がるデジタルPR手法を学ぼう～

⑤自分たちで自分たちのまちをつくる！企画・発想力強化研修

～意見するだけじゃない！主体的なまちづくりを行うための成功事例を学ぼう～

4 開催形式

●方向性（案1）ワークショップ型

めやす：2時間30分程度

<概要>

テーマについて、参加者全員が実際に体験するワークショップ型の研修

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・各区の実情に応じた検討ができる ・講義と実践の両方を体験できる ・各区拠点からのオンライン参加となるため、会場までの移動の負担が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・区ごとに分かれてオンライン形式での開催となる ・通信トラブルのリスクが懸念される ・研修に時間がかかるため、質疑の時間が少なくなる

<想定される研修テーマ>

- ・①、②、③ ※講義型でも実施可能

●方向性（案2）講義型 ※従来と同様の形式

めやす：1時間30分～2時間程度

<概要>

自治協の運営に参考となる先進的な考え方や手法をテーマにした、講義型の研修

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・全員が一同に集合して開催できる ・参加者の体験の質で左右されない ・オンラインは一部採用のため、安定した研修となる ・質疑の時間を多めにとれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・インプットだけの研修になり得る ・会場までの移動の負担が大きい

<想定される研修テーマ>

- ・④、⑤

5 参考：過去の研修会

期	年度	内容
8	R3	<ul style="list-style-type: none"> ○講演「協働による地域課題の解決の必要性と、それを踏まえた自治協に求められる役割—組織の合意形成と調整能力—」 ○運営改善、活動促進に関する事例発表（代表2区）
7	R1	<ul style="list-style-type: none"> ○市民協働課説明「第7期自治協委員への期待について」 ○区自治協議会の役割に関する取組み報告（代表4区） ○パネルディスカッション
6	H30	○パネルディスカッション「魅力ある区自治協議会とするために ～各区の取組み～」
	H29	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会「81万市民総活躍のまちづくりについて」 ○意見交換会「区自治協議会の活性化について」

令和5年度 第1回区自治協議会会長会議

日 時	令和5年6月9日（金）午前9時30分 ～ 午前11時00分	
会 場	新潟市役所本館 3階 対策室1	
出席者	会長	前田 義憲 北区会長、 佐藤 雅之 中央区会長、 中島 純 秋葉区会長、 大谷 一男 西区会長、 佐藤 清 東区会長、 中野 高子 江南区会長、 高橋 直廣 南区会長、 吉田 金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	1名	
主な議題	<p>1 開会</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 区自治協議会会長会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2「区自治協議会会長会議について」及び資料3「新潟市区自治協議会会長会議要綱」に基づき、同会議の概要について、事務局から説明がありました。 <p>4 座長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> 互選の結果、大谷 西区会長が座長に選任されました。 また、座長が会議に欠席した際に、座長職務を代行できるよう副座長を1名選任することについて、座長から提案があり、承認されました。 互選の結果、佐藤 中央区会長が副座長に選任されました。 <p>5 議題</p> <p>(1) 各区自治協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料4「各区自治協議会について（第9期委員構成、令和5年度自治協提案事業）」に基づき、第8期からの委員構成の変更点や、今年度取り組む区自治協議会提案事業の概要などについて、各会長から報告がありました。 <p>【各会長からの報告内容】※西蒲区～北区の順に報告</p> <p>(西蒲区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務部会では、防犯・防災、文化・スポーツ等の分野を所管しており、第8期には9つの地域コミュニティ協議会対抗の運動会や防災演劇を企画した。 健康福祉部会では、脳科学者の先生による講演会を第8期は実施した。 まちづくり・産業部会では、第8期に、西蒲区の魅力をドローンで撮影したPR動画を作成した。 第9期の事業内容については、今後の部会で検討していく。 <p>(西 区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ拾いSNSピリカの活用、環境美化パートナー制度等を通じて、区民の美化意識向上を図るための取組みを実施する。 	

- 令和4年度に実施したアンケートとワークショップの結果に基づき、広い世代に向けて、支え合いの大切さ普及事業を展開していく。
- 西区の様々な魅力（西区八景）を活用したイベントを実施し、フォトコンテストやWebサイトによる魅力発信を現時点では検討している。
- 防災や減災への疑問を解消し、災害時に区民が迅速に対応できるよう防災力向上事業に取り組む。
- 今年度も西区アートフェスティバルの開催を通じて、大学などと連携しながら学術・文化豊かな西区の魅力を発信していく。

（南 区）

- 委員構成については、昨年度、女性活躍の必要性を学ぶ講演会を開催するなど、女性委員の登用を推進し、第9期は女性割合を43%まで上げることができた。
- 第1部会では、「クリーンアップみなみ区事業」と「南区ウォーク&ライド体験事業」を通じて、地域全体で環境美化、防災意識の醸成を図る。
- 第2部会では、「南区家族ふれ愛事業」と「夏休みの宿題サポート事業」を通じて、子育てをする家庭の負担軽減、地域人材の活用による世代間交流を図る。
- 第3部会では、昨年度に引き続き、六斎市の魅力と農産物のPRを行う。また、区外の人をターゲットに南区の魅力を発信するバスツアーを検討している。
- 南区まちづくり活動サポート事業では、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる目指す区のすがたの実現に向けた取組みを推進する。

（秋葉区）

- 第8期に秋葉区民を対象に実施した幸福度調査の結果より、子育て世代や生産世代の人口の満足度をいかに引き上げていくかが秋葉区の課題であると考えている。
- 持続可能な地域づくりを目的に、区ビジョンを区内11の小学校区に落とし込み、地域コミュニティ協議会が主体となる将来ビジョン策定に向けたワークショップを開催する。
- 地域課題解決につながる事業を区内の団体から募集し、区自治協議会と協働しながら取組みを支援する「きらめきサポートプロジェクト」を今年度も実施する。
- 区自治協議会の認知度向上に向け、コミュニティFMを活用した広報活動にも取り組む。

（江南区）

- まちづくり部会では、「江南区魅力発掘・発信プロジェクト」、環境・教育部会では、「多世代交流“みらい”プロジェクト」、安心安全部会では、「誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト」を実施する。
- 地域コミュニティ協議会の課題解決に向けて、「地域課題解決サポートプロジェクト」を引き続き実施する。
- 近年はコロナの影響による活動の制約を受けながらも、まちづくり部会では、委員自ら地域へ出向いて魅力を発掘し、マップ作りを通じて発信するなど、それぞれの委員が地域の魅力を再認識する良いきっかけとなった。

(中央区)

- 新潟市区自治協議会条例を踏まえ、諮問機関としての業務、地域づくりの業務に係る活動を心掛けている。
- 諮問機関の業務としては、的確な答申ができるよう、会議前に審議内容に関する勉強会・研修会を開催している。
- 中央区では各部会で考え、討議することに重点を置いている。まずは、所管分野において身近な課題の洗い出しと議論を行い、深掘り調査や効果検証するための事業を展開しながら課題解決を図っていく。

(東 区)

- 委員構成については、女性割合が56%となっており、全体会や部会では活発な意見交換が行われている。
- 第9期の提案事業については、1年目は地域課題の調査研究として、東区民を対象とした意識調査を行い、2年目で調査研究を踏まえた事業を実施する。
- 5月の部会では、意識調査のイメージを膨らませるために、各部会の所管分野を基本として意見交換を実施した。
- 今後は各部会で令和6年度の事業実施を見据えた課題の掘り起こしができるように、意識調査の設問内容等を検討していく。

(北 区)

- 第9期より、1年目は調査研究、2年目は事業実施という方式で提案事業を展開する。
- 現在、各部会でどのような事項を議論するのか検討している。
- 委員は各団体の推薦のもとに選出されているため、出身母体から多様な意見を吸い上げ、協議会で問題を指摘、解決に向けた議論をするといった役割の認識、会議運営を心掛けていきたい。

(2) 令和5年度全体委員研修会について

- 資料5「令和5年度全体委員研修会について」に基づき、事務局からの提案を踏まえ、研修テーマ及び開催形式の方向性について意見交換が行われました。
- 開催時期は、9月1日(金)～9月7日(木)の期間で平日の午後に想定し、調整を行うとしました。
- 開催形式については、講義とテーマ別討議を合わせた方向性で検討することとしました。
- 研修テーマの方向性については、意見交換の内容を参考に、事務局で検討を進めることとしました。

【主な意見】

- ワークショップ型は、8区全てオンライン中継での開催となってしまうため、講義と全体討議(意見交換)を合わせた形式での実施が望ましいと思う。
- 全体討議については、委員それぞれの問題関心に応じてテーマを選択し、部会のような形式で行うテーマ別討議にしてはどうか。

- スキルアップ重視の研修というよりは、前半の講義で区自治協議会に関する大きなテーマについて学んだうえで、後半のテーマ別討議に展開できると高い満足度にもつながると考える。
- テーマ別討議では、各区の取組みなどの情報共有ができるるとより効果的な研修になるのではないか。
- 講義については、自治協議会の歴史や今後求められる展開なども含めた内容を組み立ててみてはどうか。
- 講義とテーマ別討議を合わせて実施する場合、1時間30分では時間が足りないので、研修時間も検討事項に加えてほしい。

(3) その他

- 多様な主体との協働によるまちづくり、人づくりの推進に向けて、今年度より実施する新規事業（「まちづくりパートナーシップ事業」、「地域力UPチャレンジ事業」）について、事務局から情報共有がありました。
- 次回の区自治協議会会長会議の開催時期について、事務局から情報共有がありました。

6 閉会

会議資料

□次 第

- 資料1 : 区自治協議会（第9期）会長名簿
- 資料2 : 区自治協議会会長会議について
- 資料3 : 新潟市区自治協議会会長会議要綱
- 資料4 : 各区自治協議会について（第9期委員構成、令和5年度自治協提案事業）
- 資料5 : 令和5年度全体委員研修会について
- 参考資料 : 令和5年度会議体設置状況一覧表